

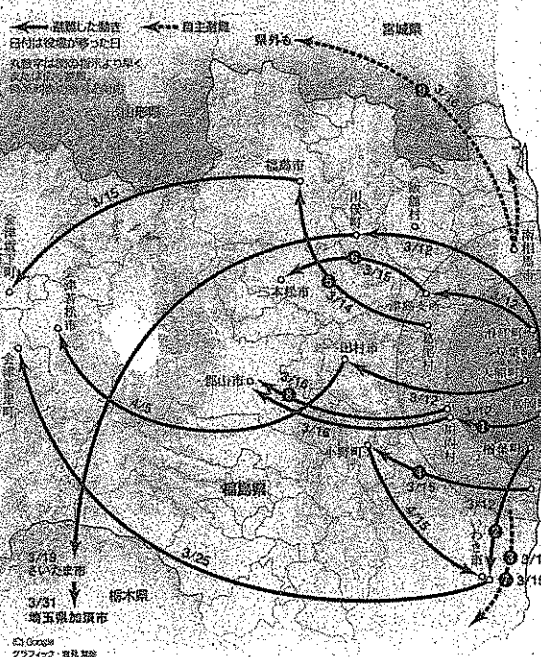
住民の避難 残る課題

自治体は国の指示より早く、広く避難した



3月11日、浪江町の避難所で休む住民ら
高年齢も避難した マスクをつけて呼吸する避難者
市町村の避難指示、要請は、対応が遅れたのは住民に伝えたため

2011年3月11日	午後2時46分	地震が発生
	3時42分	東電、全交流電源喪失と判明し、政府に通報
	4時46分	東電、原子力緊急事態を政府に報告
	7時03分	政府、原子力緊急事態を宣言
	48分	枝野幸男官房長官「現時点ではただちに特別な行動を要す必要はない。従って避難を始めることがないよう」
	8時50分	福島県、大船・双葉町に「福島第一原発2号」の住民を避難させるよう要請
	8時52分	枝野長官「念のため、避難を始めてほしい」
12日	午前10時54分	10時 避難指示
	6時	①富岡町、全町民避難指示
	6時7分	浪江町、10時、隣の町民に避難指示
	21分	大船町、10時、隣の町民に避難指示。その後、10時、隣外の町民にも呼びかけ
	7時30分	双葉町、全町民避難指示
	46分	②浪江町、10時、隣の町民に避難指示
	8時	③飯沼町、全町民避難指示
	8時35分	枝野長官「10時、屋外に出ているのは、まだ安全を期するため」
	午後1時	浪江町、後援を第一原発から30kmの津島地区へ移行決定。20時、隣の町民も避難
	3時36分	1号機の原子炉建屋が水素爆発
	5時34分	④浪江町、10時、隣の町民に避難指示
	8時25分	⑤浪江町、10時、隣の町民に避難指示。その後、南相馬市、葛尾村、川内村が隣地域住民に避難指示
	8時10分	田村市、20時、屋外を含む郡部全域に避難指示
	50分	枝野長官「念のため、まだ安全を期す観点から20時に拡大した」
13日	午前8時30分	⑥20時、屋外のいわき市、久之浜・大久地区の市民に自主避難を要請
	11時	⑦広野町、全町民避難指示
	午後4時27分	枝野長官「3号機の炉内でも昨日1号機で生じたような水素爆発の可能性が生じた」
14日	午前11時01分	3号機の原子炉建屋が水素爆発
	40分	枝野長官「放射線物質が大量に飛び散っている可能性は低い」
	午後9時55分	⑧葛尾村、全町民避難指示
15日	午前4時30分	浪江町、全町民避難指示
	8時12分	4号機の原子炉建屋が水素爆発
	9時	第一原発正門付近で、放射線となる毎時1万1937シーベルトを計測
	30分	いわき市、小川・川前地区の一部市民に自主避難要請
	午後	オフサイトセンターから政府の原子力災害現地対策本部が報道
	8時50分	文科省、浪江町津島地区で毎時3307シーベルトを計測するも、町に伝わらず
16日	午前7時30分	⑨川内村、全町民避難指示
	9時	⑩南相馬市、全市民に避難を呼びかけ
	午後	大船町の双葉病院の入院患者が、12～16日にかけて避難。3月まで40人が死亡
23日		SPEEDIを使った放射線物質の汚染地図を初めて公表
25日		20～30時、自主避難の要請を控え
4月21日		第一原発10時、避難指示を0時に撤回
5月22日		警戒区域を設定
		計画的避難区域、緊急時避難準備区域を指定
		飯沼村全域、南相馬市、浪江町、川内町、葛尾村の一部が計画的避難区域に指定される
5月24日		東電、1号機メルトダウン認める
21日		東電、2・3号機メルトダウン認める



事故前後の避難対策

事故前	事故後
<ul style="list-style-type: none"> ① 避難指示の範囲 ② 避難指示の時間 ③ 避難指示の手段 ④ 避難指示の伝達 ⑤ 避難指示の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難指示の範囲 ② 避難指示の時間 ③ 避難指示の手段 ④ 避難指示の伝達 ⑤ 避難指示の遵守

福島第一原発事故前、避難指示は10km圏内。事故後、避難指示は10km圏外に拡大。また、避難指示の時間や手段も変化。避難指示の伝達も改善された。

事故前、避難指示が10km圏内だった。事故後、避難指示は10km圏外に拡大された。また、避難指示の時間や手段も変化。避難指示の伝達も改善された。

事故前、避難指示が10km圏内だった。事故後、避難指示は10km圏外に拡大された。また、避難指示の時間や手段も変化。避難指示の伝達も改善された。

国が測った放射線量町に伝わらず

国が測った放射線量町に伝わらず。住民は避難指示を受けず、危険な状況に陥った。自治体は国の指示よりも早く、広く避難させた。

屋内退避重視 非現実的な面も

屋内退避重視 非現実的な面も。政府は屋内退避を推奨したが、住民は避難を希望した。自治体は避難を促したが、国の指示に従った。

バス確保は渋滞は

バス確保は渋滞は。避難バスが渋滞に巻き込まれ、避難が遅れた。自治体はバス確保を要請したが、国の指示に従った。

避難バスが渋滞に巻き込まれ、避難が遅れた。自治体はバス確保を要請したが、国の指示に従った。

避難バスが渋滞に巻き込まれ、避難が遅れた。自治体はバス確保を要請したが、国の指示に従った。

朝日新聞

事故の教訓 生かしているか

使用済み燃料露出か世界に緊張

世界を生かすという目的は、日本は15年前の東電福島第一原発事故以来、原子力発電の安全性を高め、事故防止に努めている。だが、日本は「原子力発電の安全性を高める」ことだけでなく、「原子力発電の廃止」を掲げ、世界に緊張を与えている。これは、原子力発電の安全性を高めるという目的だけでなく、原子力発電の廃止を掲げ、世界に緊張を与えている。これは、原子力発電の安全性を高めるという目的だけでなく、原子力発電の廃止を掲げ、世界に緊張を与えている。

広まらぬ「安全性高い」乾式貯蔵

原子力発電の安全性を高めるという目的は、日本は15年前の東電福島第一原発事故以来、原子力発電の安全性を高め、事故防止に努めている。だが、日本は「原子力発電の安全性を高める」ことだけでなく、「原子力発電の廃止」を掲げ、世界に緊張を与えている。これは、原子力発電の安全性を高めるという目的だけでなく、原子力発電の廃止を掲げ、世界に緊張を与えている。

終わらぬ「想定外」への対策

福島第一原発事故で、原子力発電の安全性を高めるという目的は、日本は15年前の東電福島第一原発事故以来、原子力発電の安全性を高め、事故防止に努めている。だが、日本は「原子力発電の安全性を高める」ことだけでなく、「原子力発電の廃止」を掲げ、世界に緊張を与えている。これは、原子力発電の安全性を高めるという目的だけでなく、原子力発電の廃止を掲げ、世界に緊張を与えている。

福島第一原発事故で、原子力発電の安全性を高めるという目的は、日本は15年前の東電福島第一原発事故以来、原子力発電の安全性を高め、事故防止に努めている。だが、日本は「原子力発電の安全性を高める」ことだけでなく、「原子力発電の廃止」を掲げ、世界に緊張を与えている。これは、原子力発電の安全性を高めるという目的だけでなく、原子力発電の廃止を掲げ、世界に緊張を与えている。

原子炉ウエルと燃料プールの間に仕切り板

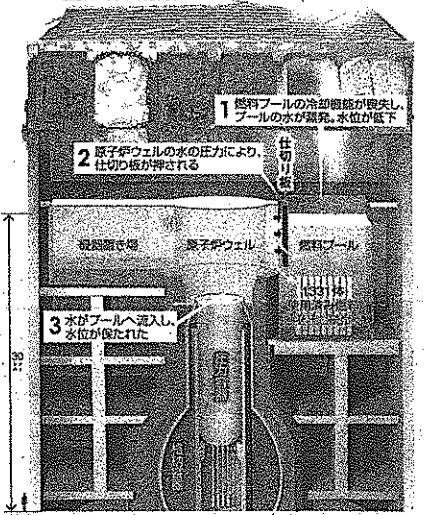


2011年6月29日撮影。東京電力提供

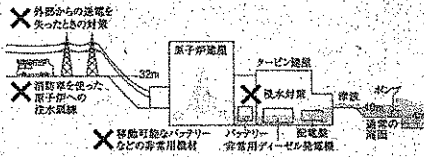
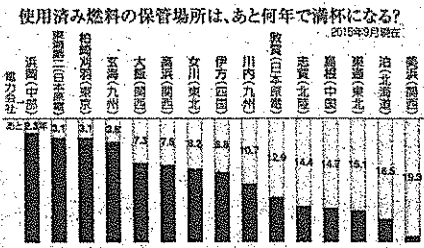
4号機 原子炉ウエル



燃料プールの水位が保たれた仕組み



燃料プールの水位が保たれた仕組み



不十分だった事前の備え

訓練や教育 努力足りなかった



東京電力の崎川尚史原子力立地本部長

東電電力は福島第一原発（福島県）の事故をきっかけに、原子力発電の安全性を高めるという目的は、日本は15年前の東電福島第一原発事故以来、原子力発電の安全性を高め、事故防止に努めている。だが、日本は「原子力発電の安全性を高める」ことだけでなく、「原子力発電の廃止」を掲げ、世界に緊張を与えている。これは、原子力発電の安全性を高めるという目的だけでなく、原子力発電の廃止を掲げ、世界に緊張を与えている。

3/3 朝日